

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 83	提案機関名 横須賀市東部漁業協同組合
要望問題名 本県に適合した新しい海苔の品種の養殖試験	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 本県産の海苔養殖の生産量と生産者は、年々減少しており、海苔養殖業の経営が厳しくなっており、このままでは、本県の海苔養殖業が途絶えてしまうと危惧している。近年は、水温や潮流など海の環境が大きく変化していると感じている。西日本では、環境に適合して海苔の品種の開発が行われていると聞いている。そこで、本県の海苔養殖業を活性化するために、本県に適合した新しい品種の養殖試験の実施をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画指導部、栽培推進部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ノリの養殖は漁場の水質などの環境条件により大きく左右されます。特に水温はノリの生育に大きな影響を与えます。東京湾の秋から冬にかけての水温は長期的に上昇しており、これによるノリの生産開始時期の遅れが生産減少の一因となっています。また、ノリの生育に必要なリンや窒素も1990年代以降減少し、生産性及びノリの色調を低下させる要因となっています。すでに千葉県をはじめとするノリ生産県ではこのような環境下でも収量を落とさない品種の開発に取り組んでおりますので、これに関する情報を収集するとともに、現場へ応用できる技術について検討してまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			